

2018 夏のボランティア体験 事業報告



～ “きっかけ” は夏ボラから あなたは何を感じ☆何を見つめますか ～

活動期間：平成30年度7月20日(金)～平成30年8月24日(金)

活動先：障害者関係 プラスワーク
高齢者関係 ゆうゆうハウス
児童関係 西栗倉保育園・西栗倉幼稚園
放課後児童クラブ げんきっ子



今年も、夏休みの期間中に村内の5つの施設でボランティア体験をしました。村内外から中学生・高校生9名の参加がありました。参加した学生たちは、事前に自分で目標をたて、不安な気持ちを持ちながら参加していました。しかし、いざボランティアをしてみたらとても楽しく活動をしていたようです。各施設の方からもボランティアに来てもらって良かったと話をお聞きしました。

生徒の皆さんからは、「自分の声掛けて、みんなが笑顔になってうれしかった」「緊張したけど、楽しく活動できた」「将来考えている仕事のために役に立った」という声が多かったです。今回の貴重な体験を今後の将来に活かしてもらいたいです。



幼稚園での様子

夏休み預かりの子供たちの水遊びや昼寝の補助などの活動をしました。

参加した生徒さんからは、「ボランティアをすると自分を磨くことができ、新しい発見があり、自分の自信につながる」といった声がありました。

将来、なりたい職業なのでいい経験ができたという生徒が多かったです。

げんきっ子クラブでの様子

小学校時代に在学していて慣れていて。宿題を見たり、体育館で遊んだり、プールの補助をしたりしました。「自分の将来就きたい仕事なのでとても勉強になった。」「先生たちに恩返しがあったかった」といった感想がありました。



ゆうゆうハウスでの様子

利用者さんの送迎のお手伝い、見守り、レクレーションなどの活動をしました。

昨年参加してとても楽しかったので引き続き参加した。「利用者さんとの会話がとても楽しかった。来年も参加したいと思った。」と感想がありました。

保育園での様子

保育の補助（着替え、トイレ、プール遊びなど）の活動をしました。

「子どもが苦手だったけどボランティアに参加して好きになった」「将来の仕事に生かしたい」「お母さんになったときに役立つと思った」などの感想がありました。

プラスワークでの様子

昨年度に引き続き受け入れをしていただきました。活動内容は、利用者の方と一緒に作業やお話をしました。参加した生徒さんからは、「普段できない体験ができてよかった。」「障害という言葉がなくなればいい」「暗いイメージをなくすためにぜひ一度体験してほしい」といった感想がありました。



2018 夏のボランティア体験事業 受入れ施設 事後レポート

【放課後児童クラブ げんきっこクラブ】

児童関係

何故、ボランティアを受け入れようと思われたのですか？

心身ともに大変だけれども子供たちと接することは、とても楽しくやりがいのあるものだと思ってほしいと思ったから。

ボランティアを受け入れてみてどうでしたか？

大人とは違い、身近なお姉さんという存在で子供たちも構えることなく受け入れることができました。

ボランティアを行った皆さんに期待することや考えてもらいたいことは？

子どもと接する際に、ひとりひとりの子供と真剣に丁寧に向き合ってほしいと思いました。
安全を念頭に置きながら、たくさん一緒に話したり遊んでほしいと思います。

その他、どのようなことでも（施設内で何か変化などありましたか？）

高学年の女子にとっては、年の近いお姉さんの存在がうれしかったようで、よく話をしている姿が見られました。現在、学童に来ている子供たちも自分が中学生になったらボランティアに参加してげんきっこに来たいと言ってくれる様子もありました。



2018 夏のボランティア体験事業 受入れ施設 事後レポート

【ゆうゆうハウス・ひだまり】

高齢者関係

何故、ボランティアを受け入れようと思われたのですか？

人との関わり、お年寄りとの関わり大切さを感じてほしかったから。

ボランティアを受け入れてみてどうでしたか？

利用者さんにとっても良い刺激になってよかったです。
ボランティアの学生さんにも新たな刺激になったのではないかと思います。

ボランティアを行った皆さんに期待することや考えてもらいたいことは？

少しでも今後のためになったと思います。これからも、近所の人やお年寄り、
すべての人にやさしく向き合っていてください。

その他、どのようなことでも（施設内で何か変化などありましたか？）

ボランティアの学生さんが来れる事で、職場が明るい雰囲気になってよかったです。



2018 夏のボランティア体験事業 受入れ施設 事後レポート

【西栗倉幼稚園】

児童関係

何故、ボランティアを受け入れようと思われたのですか？

幼稚園という施設や幼児に興味や関心を持つ若者が少しでも増えることを願って受け入れました。

ボランティアを受け入れてみてどうでしたか？

参加者が皆まじめに取組み、多くのことを学んでくれたように思います。参加者の意識の高さに感心しています。

ボランティアを行った皆さんに期待することや考えてもらいたいことは？

これまでと変わらず、幼児に自分から積極的に関わってもらいたいと思います。

その他、どのようなことでも（施設内で何か変化などありましたか？）

幼児が親しみを持ってボランティアに接し、一緒になって元気いっぱい遊ぶ姿を見て、大人も元気をもらいました。



2018 夏のボランティア体験事業 受入れ施設 事後レポート

【プラスワーク】

障害者施設

何故、ボランティアを受け入れようと思われたのですか？

村内にこのような施設があること・障害のある方のことを知ってもらいたかったため。

ボランティアを受け入れてみてどうでしたか？

作業をしっかり手伝っていただき、ありがたかったですし、利用者さんの方でも、初めての人と出会う機会となってよかったです。

ボランティアを行った皆さんに期待することや考えてもらいたいことは？

今後いろいろな人と関わる中で、相手のことを思い、自分が何ができるか考えながら行動できるようになってほしいなと思います。

その他、どのようなことでも（施設内で何か変化などありましたか？）



2018 夏のボランティア体験事業 受入れ施設 事後レポート

【西栗倉保育園】

児童関係

何故、ボランティアを受け入れようと思われたのですか？

社会に奉仕をしようとする若者の気持ちを大切にしたいと思いました。

ボランティアを受け入れてみてどうでしたか？

1～2日間しかなかったので、もっと積極的に子どもに関わり、「子どもは関われば関わるほど反応し、すぐに変化（成長）していく」ことを感じてほしかった。

ボランティアを行った皆さんに期待することや考えてもらいたいことは？

打算ではなく社会奉仕しようとする姿勢は立派だと思います。これからも大切にしてほしいです。

その他、どのようなことでも（施設内で何か変化などありましたか？）

